

## ◇美容技術における用具

- ・道具⇒美容師のはたらきを实际的に、具体的に助ける機能をもつもの（コーム、シザーズ、クリップ、ピンなど）
- ・器具⇒うつわ、つまり入れるもの（消毒器、アプリケーター、シャンプーボール、美容イス、毛くず入れ、カップ類など）
- ・機械⇒動力によって動く装置（ドライヤー、遠赤外線機、ヘアスチーマー、総合美顔機など）

## ◇コーム

- 歯先 頭皮に接して毛髪を引き起こす手引きをする。
- 歯 歯と歯は引き起こされた毛髪を垂直に立てて両側から支え、そろえるはたらきをする。
- 歯元 コームの目にはいった毛髪を一線にそろえるはたらきをする。
- 胴 コーム全体の支えとなり、バランスをとるはたらきをする。

## ◇ブラシ

- ・ブラシの種類
  - ヘア用ブラシ・・・獣毛、ナイロンまたはビニール製の比較的毛の硬質なものやクッションブラシは、フケを取ったりするのに用いる
  - ヘアブラッシングに用いるブラシは、毛が柔らかすぎると頭皮まで通らないので、ある程度硬くて弾力のあるものがよい。

毛払いブラシ・・・獣毛やナイロン製の柔らかくて毛の長いブラシである

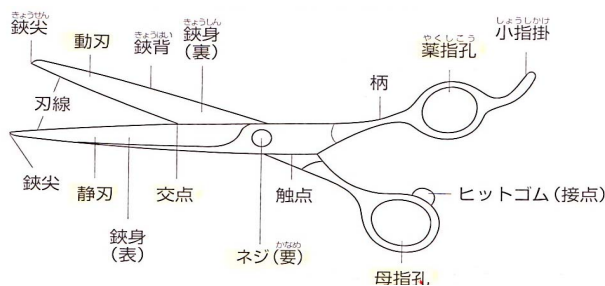
メイクアップ用ブラシ

ネイルブラシ

- ・ブラシの選定法
  - ヘアブラッシングに用いるブラシは、毛がやわらかすぎると頭皮まで通らないので、ある程度かたくて弾力のあるものがよい。
- ・ブラシの手入れ法
  - ブラシは構造上コームよりも汚れが付きやすい。
  - ブラシの手入れは法規に従ってお客様一人ごとに消毒する！
  - ①ブラシを洗剤に浸し、やわらかい毛のものは指先で軽くもんで汚れを落とす。  
かたい毛のものは洗浄ブラシなどで汚れを落とす。
  - ②洗い終わったら水ですすぎ、水分をふき、消毒液につける。
  - ③消毒液からあげたら水ですすぎ、毛を下に向けて乾かす。毛を上にしておくと、毛を植えた根元に水が浸透してブラシのもちが悪くなる。

## ◇シザーズ（使用目的により、カッティングシザーズとセニングシザーズに分けられる）

- ・ミニシザーズ・・・小型なので手にしっかりと合い、操作しやすく、細かいカットができる。
- ・アールシザーズ・・・そった形をしているので、フロント、サイド、ネーブなどの細かい部分の修整や毛先のつながりをつけるのに効果的



※動刃と静刃の間が、凸レンズ状のあきが正確につくられているものがよい。

・クリッパーとトリマー

クリッパー・・・シザーズと同じようにスライスしたパネルをカットすることができる。

肌にあると肌~~が~~切れるため注意が必要。

トリマー・・・肌に触れても傷付けないため、ネーブ処理、耳まわりのむだ毛処理などに用いられる。

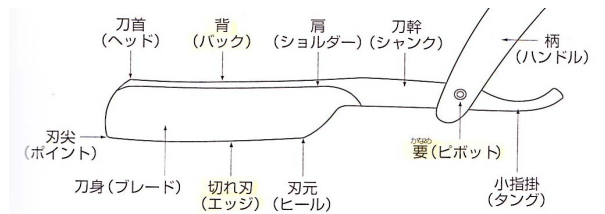
◇レザー

・本レザー（刃とハンドルが一体になったもの）・・・直線状ないしは外曲線状の刃

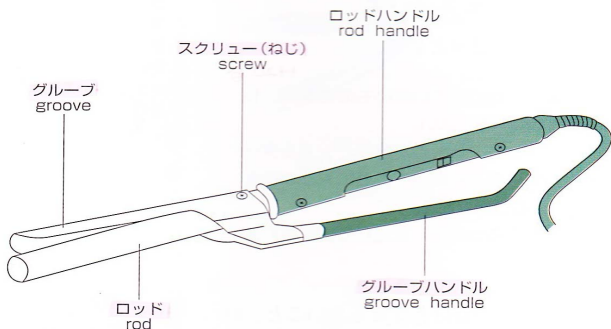
※能率的・細かい技術ができる反面、切りすぎる危険がある。

・替刃のレザー（刃をホルダーに取り付けて用いるもの）・・・直線状の刃

※刃にあたる毛髪が制限され、横滑りもしないので、安全性が高い。初心者向き



◇ヘアアイロン



・ヘアアイロンは加熱の方法により、火熱式と電熱式に大別される。

現在使われているのは主に、電熱式アイロンである。

グループ・・・毛髪をはさむはたらきをする

ロッド・・・毛髪を押しえるはたらきをする

◇ヘアド라이어

ブロータイプ・・・毛髪に風を直接吹き付ける・・・音が静かで毛髪も乱れにくい、ドライイングに時間を要する

タービネートタイプ・・・風が旋回して送り出される・・・熱風の放散を防ぐ構造の為、ドライイングの能率を高める

○ハンドド라이어・・・ブロータイプ

○スタンドド라이어・・・ブロータイプとタービネートタイプの両方